

◎ あとがき ◎

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、日常の行動制限が解除されるとともに、小児ではほかの感染症の流行がみられるようになった。RSウイルスは2021年の大流行時と同じような経過で増加し、ヒトメタニューモウイルス、季節外れのインフルエンザウイルス、季節通りのヘルパンギーナ、アデノウイルスなども流行し、小児の発熱患者は急増し、入院病棟は逼迫している。今後、新型コロナウイルス感染症の再流行も含め、まだまだ大変な時期が続くようである。

そのような状況でも、以前からある疾患の患者も相変わらず診療しなければならない。今回の特集のテーマである腎・泌尿器疾患もその一つである。とくにわが国では3歳児検尿や幼稚園検尿・学校検尿などにより、一般の小児科医が腎疾患をはじめに診察する機会が多い。

本特集では腎・泌尿器疾患について、基本的な事項からガイドラインの解説、最新の情報にいたるまで、小児腎疾患を専門としない小児科医にもわかりやすくまとめられている。まず初めに「腎疾患診療に役立つ知識」では、検尿の診かたに始まり、腎機能の評価、腎形態の評価、さらに血尿・蛋白尿への対応など、基本的な事項の復習ができる。「ガイドラインの解説」では、ネフローゼ症候群、IgA腎症、水腎症、夜尿症、慢性腎臓病など代表的な疾患のガイドラインについて、要点が簡潔にまとめられていて全体像の把握に有用である。「腎・泌尿器疾患診療の進歩」では、尿路感染症、紫斑病性腎炎などの診断や病態、治療に関する最新の知見が紹介されている。また近年のゲノム解析技術の発展により、多くの腎疾患において遺伝子変異が報告されていることがわかる。「病因研究・遺伝子診断の進歩」では、これらの遺伝子解析が病因や病態の解明にもつながっていることが述べられていて興味深い。まさに基本的なことから最新の知見にいたるまで網羅している本特集が、皆様の日々の臨床の一助となることを願っている。

(成田雅美)

■編集顧問

白木和夫	阿部忠良	藤川 敏	阿波彰一
山口規容子	飯沼和三	大和田 操	伊藤文之
柳川幸重	児玉浩子	岩田 力	麦島秀雄
桃井真里子	山中龍宏	藤澤知雄	横田俊平
小原 明	衛藤 隆	椎原弘章	田原卓浩
横田俊一郎	栗津 緑	五十嵐 隆	稲毛康司
下条直樹	田島 剛	洲上達夫	森尾友宏
大橋十也	浦上達彦	賀藤 均	秋山千枝子

■編集主幹

清水俊明 窪田 満 富澤大輔

■編集委員

伊藤純子	乾あやの	小野 博	小崎健次郎
小林茂俊	小松充孝	島袋林秀	東海林宏道
高橋謙造	成田雅美	日暮憲道	平野 静香
広瀬宏之	三浦健一郎	道下崇史	森岡 一朗

小児内科 第55巻 第7号 (7月号)

2023年7月1日発行 (毎月1日発行)

定価3,190円 (本体2,900円+税10%)

※消費税率変更の場合、上記定価は税率の差額分変更になります。

2023年前金予約購読料 53,240円 (本体48,400円+税10%)

増大号1冊・増刊号1冊 (小児内科・小児外科合同) 含む

*送料は前金予約購読の方のみ弊社負担です。

*ご転居の際は「小児内科」とご明記の上、新旧のご住所を販売部までご連絡下さい。

編集 小児内科編集委員会

発行 株式会社 東京医学社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-40-5

URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>

編集部 TEL 03-3237-9113 (直) FAX 03-3237-9115

E-mail: shonai@tokyo-igakusha.co.jp

販売部 TEL 03-3265-3551 (代) FAX 03-3265-2750

E-mail: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株) 東京医学社が保有します。

・ **JCOPY** (出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に一般社団法人出版者著作権管理機構 (TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089), e-mail: info@jcopy.or.jp の許諾を得てください。

本誌広告取り扱い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 本郷宮田ビル 5F
TEL 03-3814-8541 (代) FAX 03-3816-0415